

階級消滅論・ 階級協調幻想を打ち砕こう！

「経営者目線で考えろ」「労働者が生産性向上に協力するのは当然だ」との風潮がまかり通っている。しかし本質は違う。支配階級は、起ち上がる労働者には徹底的な弾圧と排除、組合つぶしで臨み、その影響力を根こそぎにしようとする。ともに学び、資本のイデオロギーから峻別された階級意識、価値観を確立しよう。それが、日朝連帯をはじめとするインターナショナルな労働者の連帯の基盤ともなるのだ。

第 2 回

6月26日(水)

開始 18:45
終了 21:15

関西生コン支部への弾圧を許すな！

——財界・国家権力一体となった組合潰しに負けない

講師= **小谷野毅** (全日本建設運輸連帯労組書記長)

全日建連帯労組関西生コン支部への異常な大弾圧が続いている。去年8月から今年4月まで逮捕者は述べ64名。企業・警察・検察が一体となり、ヘイト集団まで押しかけて、あたかも労働運動が禁止されていた時代を思わせる。なぜ関生が狙われるのか。それはこの労組がストライキを打てる力量を持ち、非正規雇用労働者を組織し、のみならず企業の枠を超えた産業別の闘いを展開してきたからに他ならない。この弾圧をはね返す闘いは日本の労働運動を再生する道へとつながっている。

第 3 回

7月3日(水)

開始 18:45
終了 21:15

労働者としていかに生き活動するのか？

——国鉄からJRの現場で40年闘って

講師= **青柳義則** (国労東京・中部全労協議長)

この講座の講師である青柳義則さんは、1980年に北海道留萌市にあった国鉄留萌電気支区に就職しました。職場の全員が国労組合員であった配属当時から、1987年の分割民営化攻撃、2010年の政治解決を経て現在に至るまで、国鉄からJRの職場で働き、地域闘争では中部全労協議長としても様々な闘いの現場にいる講師に、労働者の生きざまを語っていただく。

そして24年に及ぶ国と総資本による嵐の攻撃をくぐり抜いた闘いの経験を活かして、現在の労働運動の現況と日本労働運動を階級的労働運動として蘇生させるための課題についての講師の考えを聞き、参加者で討論したいと思います。講座では、30年以上前の国鉄分割民営化攻撃を知るための映像の上映を予定しています。労働問題に少しでも興味のある方を初め皆様のご参加をお待ちしています。なお、講座終了後に同じ会場で簡単な懇親会を予定しています。



2019年中部全労協の旗開きで撮影

第 4 回

9月11日(水)

開始 18:45
終了 21:15

労働者階級は厳然と存在する

——AI、IoT、階級消滅論のデタラメさ

講師= **山下勇男** (社会主義理論研究)

受講料= 1回 1500円 1回あたりの受講料が割安になる8枚綴りの受講券もあります。
お気軽にお問い合わせください！

会場 **本郷文化フォーラムホール** 〒113-0033東京都文京区本郷3の29の10飯島ビル1F (最寄駅=地下鉄本郷三丁目)

■ 問い合わせ TEL = 03 (5804) 1656 FAX = 03 (5804) 1609 メールアドレス= hows@dream.ocn.ne.jp

【地図裏面】